

CMK Report 2019

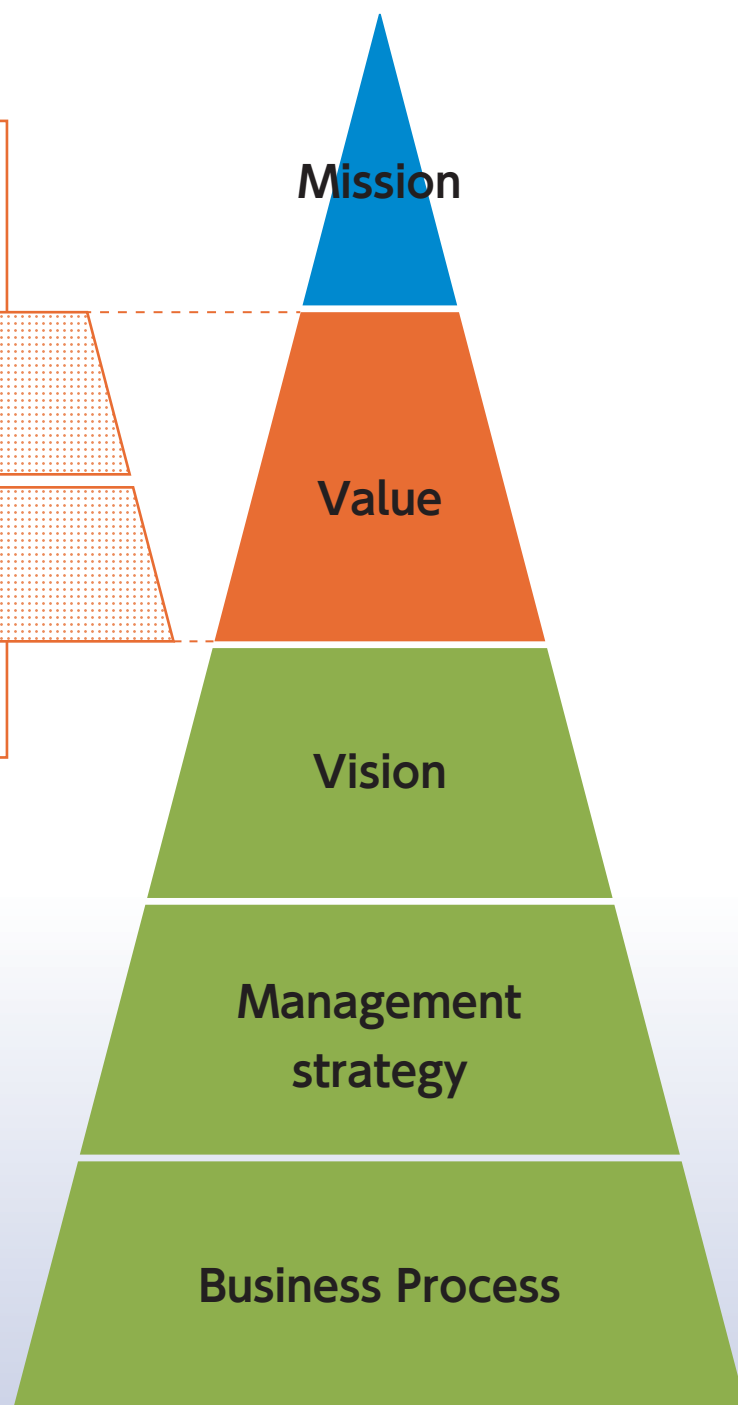


基本理念

経営理念
経営方針・経営ビジョン
内部統制基本方針
CMKグループ行動宣言
CSR理念
品質理念
環境理念
人財育成理念

方針類

品質方針
環境基本方針
購買方針
安全衛生宣言
情報セキュリティ基本方針
安全衛生基本方針
ITに関する基本方針
個人情報保護基本方針



CONTENTS

02 トップメッセージ
03 暮らしと未来をつなぐプリント配線板
05 プリント配線板の信頼と技術
07 コーポレートガバナンス&マネジメント
09 トピックス
11 CSR憲章・CSR推進体制
12 2018年度活動テーマと取り組み状況

13 環境保全
17 社会貢献
18 品質・安全性
19 顧客ニーズ対応
20 公正な取引
21 人権・労働
23 安全衛生

25 情報セキュリティ
26 中長期ビジョン・中期経営計画
27 業績・財務ハイライト
29 会社概要
30 株式の状況

トップメッセージ

持続的な成長と 中長期的な企業価値創出のために

—社会から必要とされる会社であり続けるために—

近年、テクノロジーの発達などによりグローバルレベルで人やモノが自由に動き、国境を越えた経済活動が活発に行われるようになった反面、その代償として反グローバリズム・保守主義の動きも高まり、自由で開かれた国際経済秩序の流れとは逆行した形で世界経済への影響が懸念されています。またその一方で、地球温暖化をはじめとする環境問題、食糧危機や資源の枯渇問題、人権問題、貧困問題、教育・経済の格差問題など多岐に亘る社会的課題への解決が急がれ、持続可能な社会の実現に向けた国際的な枠組みの設定と目標に向けた取り組みが進められています。

このような背景を踏まえ、あらためて国際社会における企業の役割を再認識するとともに、社会の一員としてこれらの課題に対して積極的に関与し責任を果たしていく必要を強く感じています。

当社はプリント配線板の専門メーカーとして創業以来「発展と永続」を社是として掲げています。持続可能な社会の実現が企業発展の基盤そのものであり、事業を通じて社会、即ちステークホルダーの要請にお応えし、企業価値を創出し続けていくことが当社の使命であると認識しています。



代表取締役社長 大澤 功

中期経営計画

当社は、中期ビジョンを「やりがいと顧客満足度を上げるための事業体制に変身する」とし、2019年度から2021年度までの中期経営計画2019を策定しました。当社が強みとする、特に高い品質と信頼性が要求されるエンジンやブレーキ、予防安全装置等が含まれる自動車のパワートレイン・走行安全系の分野に注力し、「世界最高レベルで安心感のある製品」を世の中に供給することで、ステークホルダーの皆様からの期待に応えるとともに、社員の幸せ・成長の実現に向けて取り組んでまいります。

信頼回復に向けて

2018年12月、当社製品の製造工程において、一部のお客様に事前承認を得ることなく製造拠点の変更等を行っていたことについて公表しました。ステークホルダーの皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。当社は、本年のスローガンを「CMK Restart -自らを変えて、存在意義を世の中に問う-」とし、役職員一人ひとりが会社の存在意義や価値意識の重要性を認識する機会と捉え、グループを挙げて徹底した再発防止をはかり、信頼される企業に再生させてまいります。

今後とも皆様方により一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

暮らしと未来をつなぐプリント配線板



ADAS・
自動運転



ウェアラブル
機器

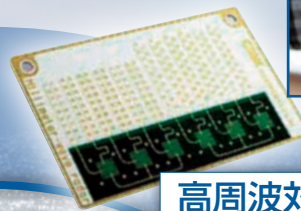


センサー
ネットワーク

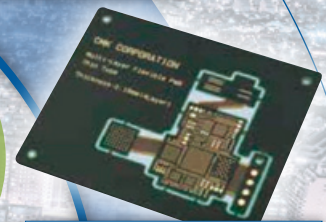
リジッド・フレックス配線板
折り曲げて組み込める！



曲がる

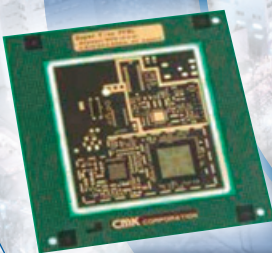


高周波対応配線板
高精度な高速通信に！



薄型多層FPC
4層板で板厚0.18mm！

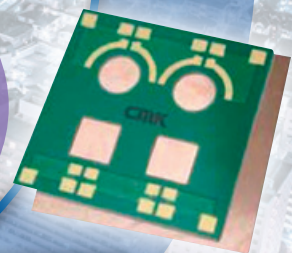
薄く



小さく

PPBU
薄くても高密度・高耐性！

伝える



CMK-COMP
銅板で熱を拡散！



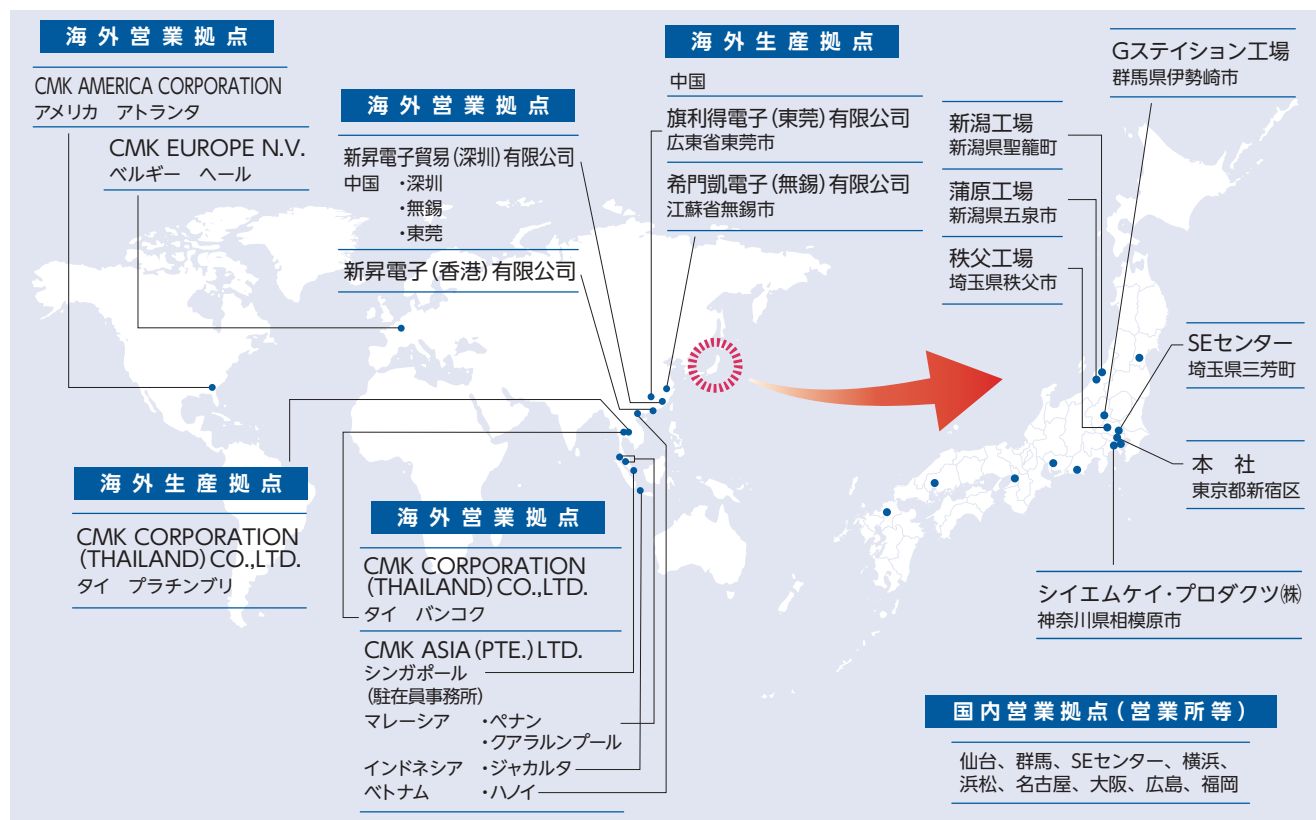
スマート
機器



ロボティクス

CMKグループの事業拠点

主な事業拠点



主な生産拠点



新潟工場



蒲原工場



シイエムケイ・プロダクツ(株)



希門凱電子(無錫)有限公司



旗利得電子(東莞)有限公司



CMK CORPORATION (THAILAND) CO.,LTD.

本文中のグループ会社 社名略称表記等

シイエムケイ・プロダクツ(株) = CMKプロダクツ

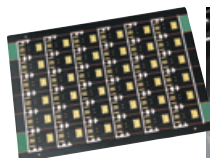
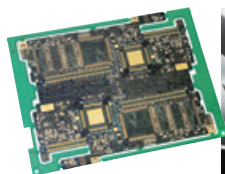
新昇電子(香港)有限公司 = CMKCHK

希門凱電子(無錫)有限公司 = CMK無錫

旗利得電子(東莞)有限公司 = 旗利得電子

CMK CORPORATION (THAILAND) CO.,LTD. = CMKタイ

プリント配線板の信頼と技術



ボディ・快適系

メーターパネル・
エアコン・
パワーウィンドウ・
ヘッドライト等

実績

貫通多層/IVH
高放熱配線板
PPBU配線板

高信頼性

高信頼性リジッド・フレックス配線板 CARFTシリーズ

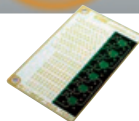
- エンジン近接の狭スペースにも、折り曲げ可能な配線板を提供します。
- より高い信頼性要求に対応します。



高精度センサー対応

高周波対応配線板

- 79GHz帯域の高精度センサー用途として提供します。
- アンテナとコントローラーの一体化要求に対応します。



パワー・トレイン系

ハイブリッドECU・
エンジンECU

実績

貫通多層/IVH
PPBU配線板

ADAS・自動運転化への提案

ADASの普及と自動運転の実現に向けて「自動化」「電動化」「コネクティッド化」をキーワードに高機能かつ高信頼性のプリント配線板を提案します。

ミリ波レーダー/センシングカメラ/レーザーレーダー (LiDAR) /赤外線・ソナー

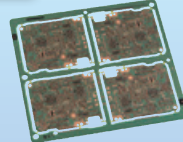
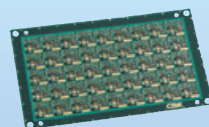
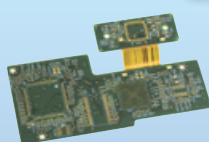
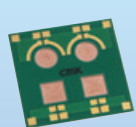
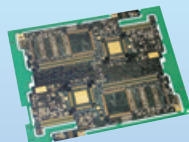
外界センサー

LEDヘッドランプ

外界センサー補完

通信デバイス

運行支援・通信システム



▲ 高周波対応配線板

▲ 貫通多層/IVH

▲ CMK-COMP

▲ リジッド・フレックス配線板
▲ CARFTシリーズ

▲ 薄型モジュール
配線板 (HDI)

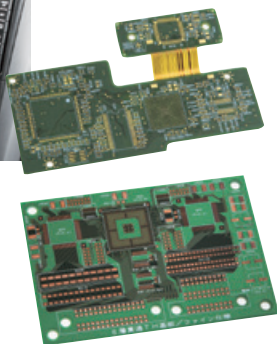
▲ PPBU配線板
(HDI)

情報系

車載用
TVモニター

実績

貫通多層/IVH
PPBU配線板
リジッド・フレックス配線板



放熱・パワエレ対応

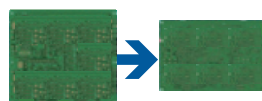
高放熱/大電流プリント配線板 CMK-COMP

- 高い放熱性を付与したプリント配線板を提供します。
- 実装部品の発熱による問題を解決します。
- 厚銅配線板を用いて、大電流要求にも対応します。

小型化・ファイン化

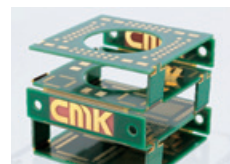
貫通ファイン仕様

- 搭載BGA端子の狭ピッチ化に対応します。
- 配線密度の向上に対応します。



フレキシブル化

リジッド・フレックス配線板



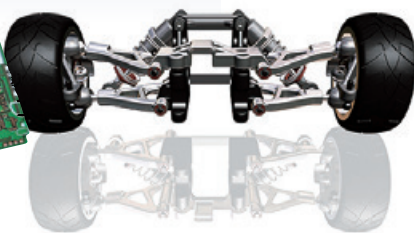
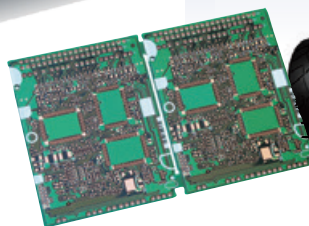
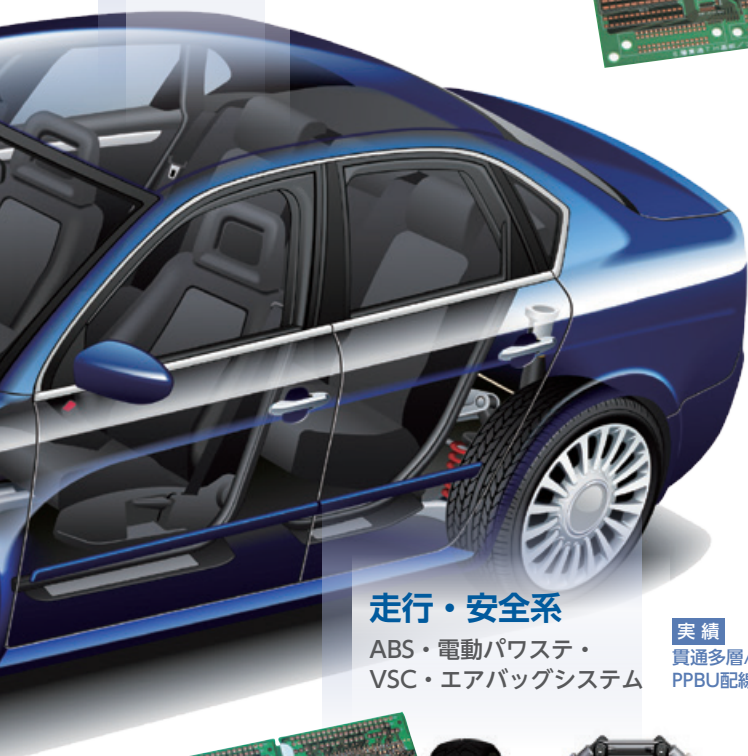
- コネクタレスで折り曲げ可能な配線板を提供します。三次元設計による製品の小型化に寄与します。
- ワンセット・ワンボード化により、トータルコストの抑制も可能です。
- コネクタレスにより、振動等によるノイズ発生を抑制します。

走行・安全系

ABS・電動パワステ・
VSC・エアバッグシステム

実績

貫通多層/IVH
PPBU配線板



ウェアラブル端末への提案



リストバンド型 (通信機能)

通信機能付きヘルスケア/フィットネス機器 ・ 歩数・活動量・体温・心拍数・血糖値・睡眠計測など

腕時計型 (スマートウォッチ)

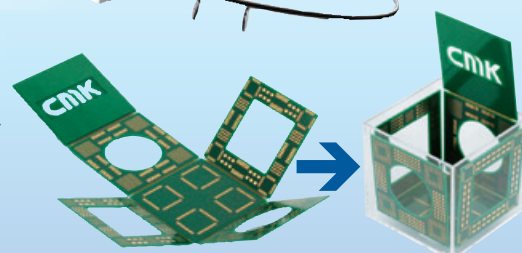
ハンズフリー通話/メール通知/音楽プレイヤー

メガネ型 (スマートグラス)

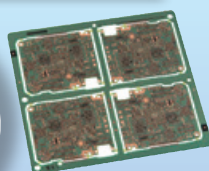
ディスプレイ表示/ハンズフリー通話/ナビ機能

その他、アクセサリ型

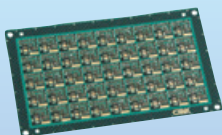
スマート靴下/コイン型活動量計測センサー



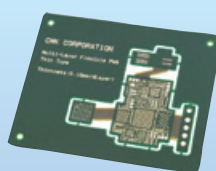
小さく・薄く
曲げる



▲ PPBU配線板 (HDI)



▲ 薄型モジュール配線板 (HDI)



▲ 薄型多層FPC

▲ リジッド・フレックス配線板

コーポレートガバナンス&マネジメント

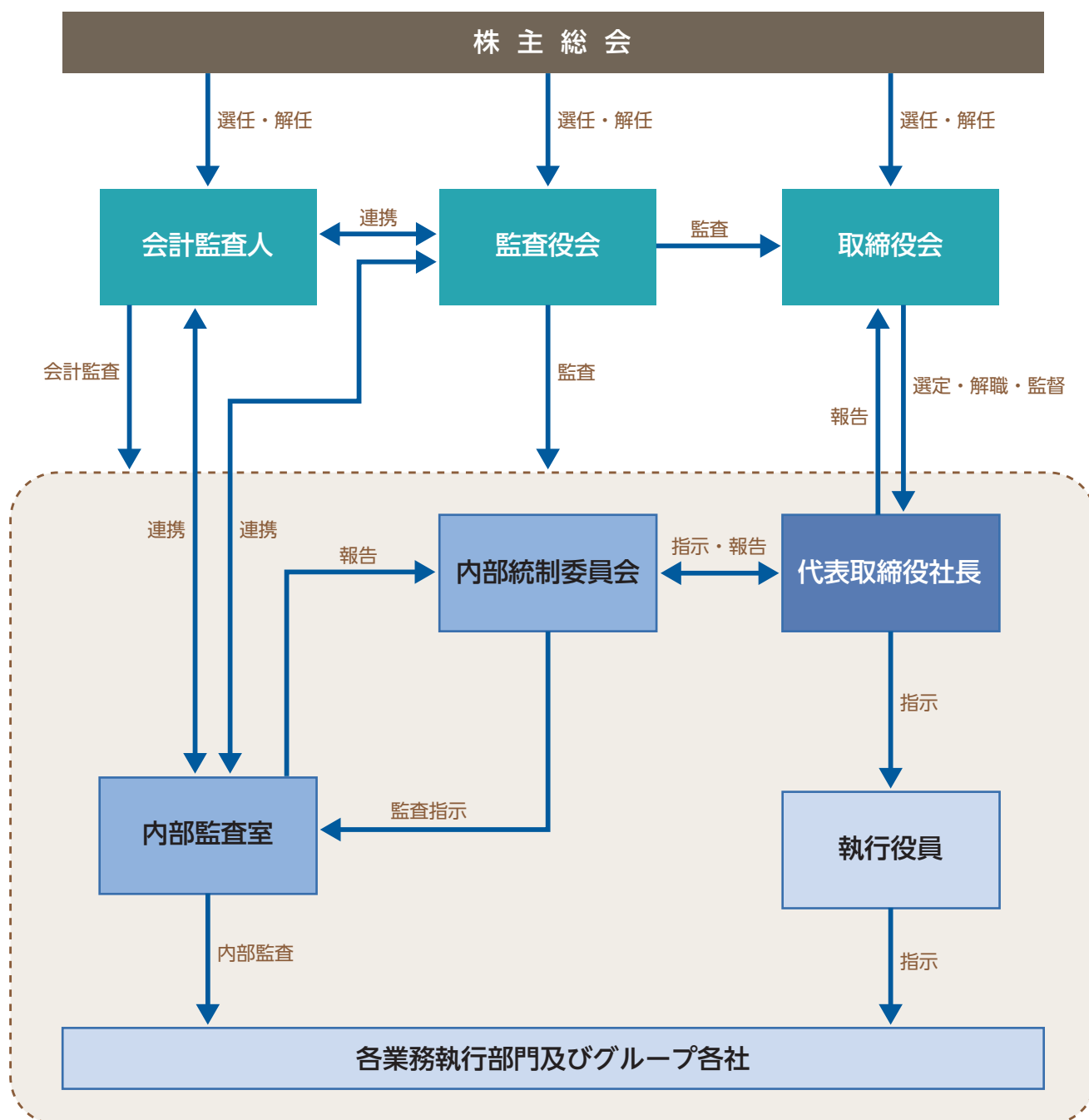
コーポレートガバナンス体制

当社は社外取締役3名と社外監査役2名を選任しています。

社外取締役は、客観的・中立的な視点から取締役会における意思決定を監視、業務執行を監督、また社外監査役は、取締役会への出席はもとより、取締役から経営上の重要事項に関する説明を聴取、意見を述べるとともに取締役の職務の遂行について監査を行っています。この社外取締役による監督機能ならびに社外監査役の監査機能によって経営監視機能の客観性・中立性を確保しています。

さらに監査役、会計監査人、内部監査部門との相互連携がはかられており、執行・監督体制が構築されています。

コーポレートガバナンス体制図



内部統制システム

取締役会のもと「内部統制に関する基本方針」に則し、体制を整備し継続的な取り組みを行っています。取締役で構成する「内部統制委員会」を常設、内部統制に関わる整備状況や運用状況の評価内容など取締役会へ定期的に報告を行っています。

社外取締役による監督機能および監査役による監査機能に加え、モニタリング機能を強化すべく内部監査部門を増員、会計監査人含め必要な情報を共有、監視体制を整備しました。

さらに客観的・中立的な立場からテーマに応じ、外部弁護士を積極活用する等、ガバナンス体制の強化をはかっています。

なお、金融商品取引法に基づく財務報告に係る内部統制活動についても有効である旨を確認した「内部統制報告書」を開示しています。

リスクマネジメント体制

会社を取り巻くリスクに対処するため、全社横断的なリスク管理体制を整備するとともに、全社方針に基づきリスクマネジメントの強化をはかっています。

「内部統制委員会」により、事業リスクの洗い出し実施、さらに統括部門によるリスクへの対応計画に関わる検証等、全社視点から経営レベルでの目標障害リスク情報を共有・協議を行う体制を整えています。

なお、個別リスクへの対応については、「内部統制委員会」傘下の「リスクマネジメント分科会」の中、法務部を中心に取り組みを進めています。

「危機管理委員会」においては有事に備え、発生の際に迅速かつ適切な対応を取れるよう平時から体制の整備、運用上のシミュレーションや訓練等に取り組んでおり、全社リスクマネジメントの強化に努めています。

コンプライアンス

当社グループにおいて、製品の製造工程を変更する場合には、納入先となるお客様との間で、事前にその変更に係る承認申請を行うことが取り決められていたにもかかわらず、一部のお客様についてかかる承認申請を行わずに、製品の製造工程において、製造拠点の変更または外注委託を行っていた事案を公表いたしました。当社グループは全力を挙げて再発防止をはかるとともに、ステークホルダーのみなさまからの信頼の回復に努めてまいります。そのためには、全社的なコンプライアンスの徹底が必要であり、経営の最重要課題であると認識しております。

(コンプライアンス強化のための重点取り組み)

- 関連規程、基準文書類の整備
- コンプライアンス研修の実施（経営層含め継続的に実施）
- コンプライアンス状況把握アンケート調査の実施（弁護士事務所と連携）
- 内部通報制度の拡充（規程改正、常勤監査役に加え外部弁護士窓口ルート、匿名運用）
- モニタリング体制の強化（内部監査室強化、客観的・中立的な機関として品質委員会、モニタリング委員会設置）

トピックス

Topics 1 CMKタイの紹介

工場増設による生産体制の強化

CMKタイ<2006年設立、日本シイエムケイ(株)100%出資>は、世界中で需要が拡大する車載基板市場に対応すべく工場を増設し、生産能力が前年より約30%増強となる設備投資を実施しました。お客様から承認をいただいた製品から、順次新設備での生産がスタートしています。



CMKタイ工場・本棟



新たに増設した工場棟部分



積層プレス設備



銅めっき設備

マネージングディレクター方針説明会開催

新年度をむかえ、マネージングディレクターより現地ナショナルスタッフに対し、今年度の方針説明を行いました。「効率化」「コンプライアンス重視」をキーワードに、利益重視を念頭に働きがいのある職場づくり実現に向け、全従業員が一体となり行動していくことの大切さなどを共有しました。



方針説明を聞くナショナルスタッフ：NC工程



方針説明を聞くナショナルスタッフ：回路形成工程

CMKタイ・CSR活動

タイでは寄贈を行う習慣が根付いています。CMKタイでも継続的な取り組みとして寄贈活動を行っています。工場の現場で使用し、不要となった部材を学校の工作資材として、また、近隣の住宅の建築資材として役立てていただきました。

仏教国ということから、お年寄りを大事にする国柄でもあります。近在の養老院にも寄贈し、記念に昼食会を開き、100名の方々と親睦を深めました。



コピー用紙15箱とクッション材200枚
Sutthi Tham寺院にて



コピー用紙7箱とクッション材100枚
Watraboapai Schoolにて



木材パレット20枚とクッション材100枚
近在のキャビン建設現場にて



100名のお年寄りの方々と昼食会
Khok Pip養老院にて

Topics 2

新潟工場 食堂リニューアル&談話室の設置

食事は仕事の活力となる大切なものです。
社員食堂メニューのマンネリ化と社員からの要望により、食堂リニューアルを実施しました。

選定ポイント !!

定食の質/量のグレードUP
小鉢の選択制
カレーの1回盛り放題
麺具材のボリュームUP

複数業者のコンペを行い、
一番ニーズに合った1社を選定しました。



麺類一例



主菜一例



小鉢一例



昼食後もそのまま食堂で休憩する人が多く、時間帯によっては食堂が混み合い、ゆっくり休憩できない光景が多く見受けられました。そこで、食堂前の会議室を談話室に改装し、従業員の憩いの場として活用しています。



CSR憲章・CSR推進体制

当社は、企業価値向上を持続可能なものにするために、「CSR理念」に「CMKグループ行動宣言」を合わせて、「CSR憲章」として制定しています。これに基づき、従業員一同CSR活動を推進し、社是である「発展と永続」をステークホルダーのみなさまと共有できるよう取り組んでいきます。

CSR憲章

CSR理念

当社は「良き企業市民として、その社会的責任を果たす」という経営理念の一つにも謳われている、企業が持つ社会性を常に意識し行動します。

CMKグループ行動宣言（原文より要旨抜粋）

社会とともに

当社は、社会との調和共存をはかるために、社会との相互理解を深め、信頼関係を築く活動を積極的に行います。

お客様とともに

良き企業活動の根本はお客様の支持を得ることにあります。確固たる支持を受け続ける企業となるべく、行動します。

株主様とともに

当社の真の姿が理解され、多くの方に株主様となっていただくことが、さらなる発展の礎となります。当社は公正に情報を開示し、株主様の共感を得る活動に努めます。

お取引先様とともに

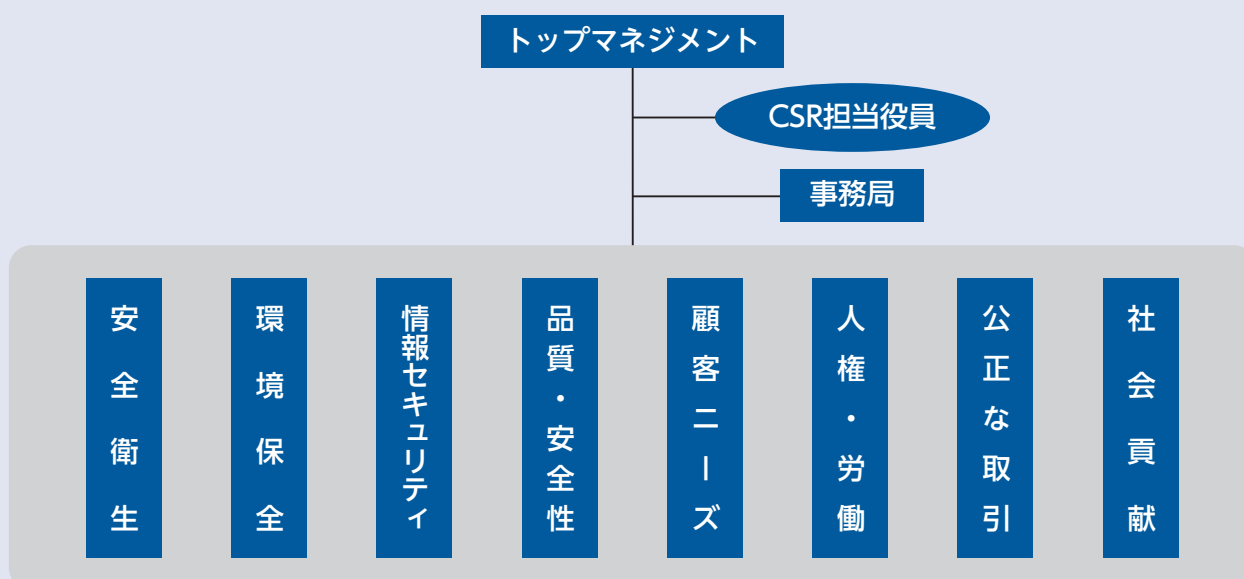
当社は、支援していただけるお取引先との良きパートナーシップがあってこそ、繁栄が訪れると考え、行動します。

社員とともに

発展の原動力は社員の活躍です。活躍した社員を正当に遇することが、さらなる発展を生みます。当社内外で活躍しうる人材作りと社員の成長を推し進めます。

CSR推進体制

CSR担当役員を議長とし、CSR関係部門を構成メンバーとした「CSR推進会議」を定期的で開催し、同会議によりCSR活動の方向付け、進捗状況評価、経営層での共有など、必要な展開を行っています。なお、各推進分野の検討項目はISO26000などCSRに関する国際的な指標類（ガイドライン）を用いたうえ、ステークホルダーのみなさまのご意見を参考として分類しています。



会議構成部門…製造本部、製造技術本部、購買部、管理本部、営業本部、品質保証本部

2018年度 活動テーマと取り組み状況

ステークホルダー別に活動テーマを掲げ、以下のとおり取り組みを進めています。
2018年度の活動内容の一部を各ページに掲載しています。

CSR活動領域における状況

ISO26000 中核主題	活動テーマ	2018 年度 評価	主な活動(課題)内容	活動例 掲載 ページ
組織統治	企業価値向上		コーポレートガバナンス対応	P7-8
			内部統制リスクマネジメント体制	
			株主・投資家とのコミュニケーション	
	情報セキュリティレベル の維持・向上		機密情報の情報漏えいリスク軽減に向けた取り組み 自己評価による改善活動	P25
人権・ 労働慣行	ダイバーシティの推進		外国人採用の推進	P21-24
			障がい者雇用の促進	
			女性従業員のキャリア形成の推進	
	グローバル人材育成		海外留学制度	
	ワーク・ライフバランス		育児、介護休業の利用促進	
			各種休暇制度の利用促進	
			労働時間短縮への取り組み	
	従業員の安全と健康		安全な職場環境の整備 メンタルヘルス課題への取り組み	
環境	CO ₂ 削減活動の実施		省エネ推進計画に則った活動	P13-16
	環境リスクの未然防止		環境リスクマネジメントプログラムの推進	
	環境負荷物質の管理		法規制、顧客要求に準じたEHS(環境負荷物質)の管理向上	
	生物多様性保全活動		地域に密着した環境保全活動の推進	
	廃棄物の削減		ゼロエミッション活動の推進	
公正な 事業慣行	公正な取引		CSR調査の実施	P20
			コミュニケーション・サプライヤーミーティング	
			独占禁止法及び下請法についての教育実施	
消費者課題	顧客ニーズに即した製品 開発		新製品開発の推進	P18-19
	技術イノベーション		AI・ロボット活用・省人化等、ニーズに対応したイノベーション	
	顧客ニーズ対応		CS調査の実施	
			お客様からの評価・満足度向上	
			製品安全性確保に向けた信頼性の評価	
			展示会への継続出展	
コミュニティ への参画及び コミュニティ の発展	地域社会への貢献		地域貢献活動の推進	P17
			地域コミュニティとの関わり推進	

環境保全

当社は、環境保全活動を経営の重要課題の一つと認識し、その基本姿勢を明確にするために、環境憲章として制定した「環境理念」および「環境基本方針」をもとに、「環境行動計画」を策定し、環境保全活動を推進しています。地球との共生を果たしながら持続可能な社会の実現に向けて従業員一丸となり取り組んでいます。

環境経営の基盤

環境理念

日本CMKは、「良き企業市民として、その社会的責任を果たす」という経営理念の一つに基づき地球環境にやさしい企業活動をあらゆる面で推進し、環境との調和を図るよう行動します。

環境基本方針

日本CMKは、地球環境との調和を図り、かけがえのない自然の恵みを護ること、それは今を生きる私たちの責任だと考え、全員参加で環境保全活動の質的向上と継続的改善を推進します。

1. CMKグループの環境推進体制を整備し、環境へのリスクや取り組みを明らかにして環境パフォーマンス向上のために、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進する。
2. 環境に関する法令・規制、顧客要求事項の遵守と企業活動における源流管理を徹底し、汚染の予防及び環境保護に努める。
3. 限りある資源を大切に、リサイクルの推進、廃棄物の削減及び有害物質の代替を推進する。
4. 省エネルギー活動を推進し、気候変動への適用や緩和に努め、持続可能な社会を目指す。
5. 生物の多様性を重んじ、緑豊かな自然と恵みを大切にすると共に、生態系の保護及び地域環境への共生に努める。
6. 環境監査を実施し、環境管理活動の確認と維持向上に努める。
7. 環境教育による意識の高揚と広報活動を積極的に推進する。

CMKの環境への取り組み

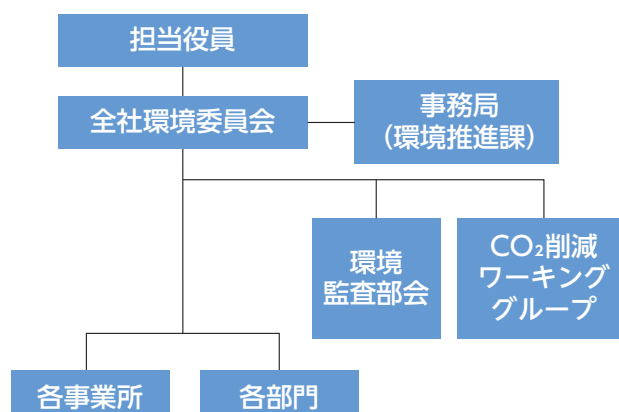


環境保全推進体制

国内外すべての事業所においてISO14001の認証を取得、全社的な環境保全体制のもと環境行動計画に即し活動を推進しています。

CMKグループの横断的環境管理組織として、全社環境委員会を設置しています。

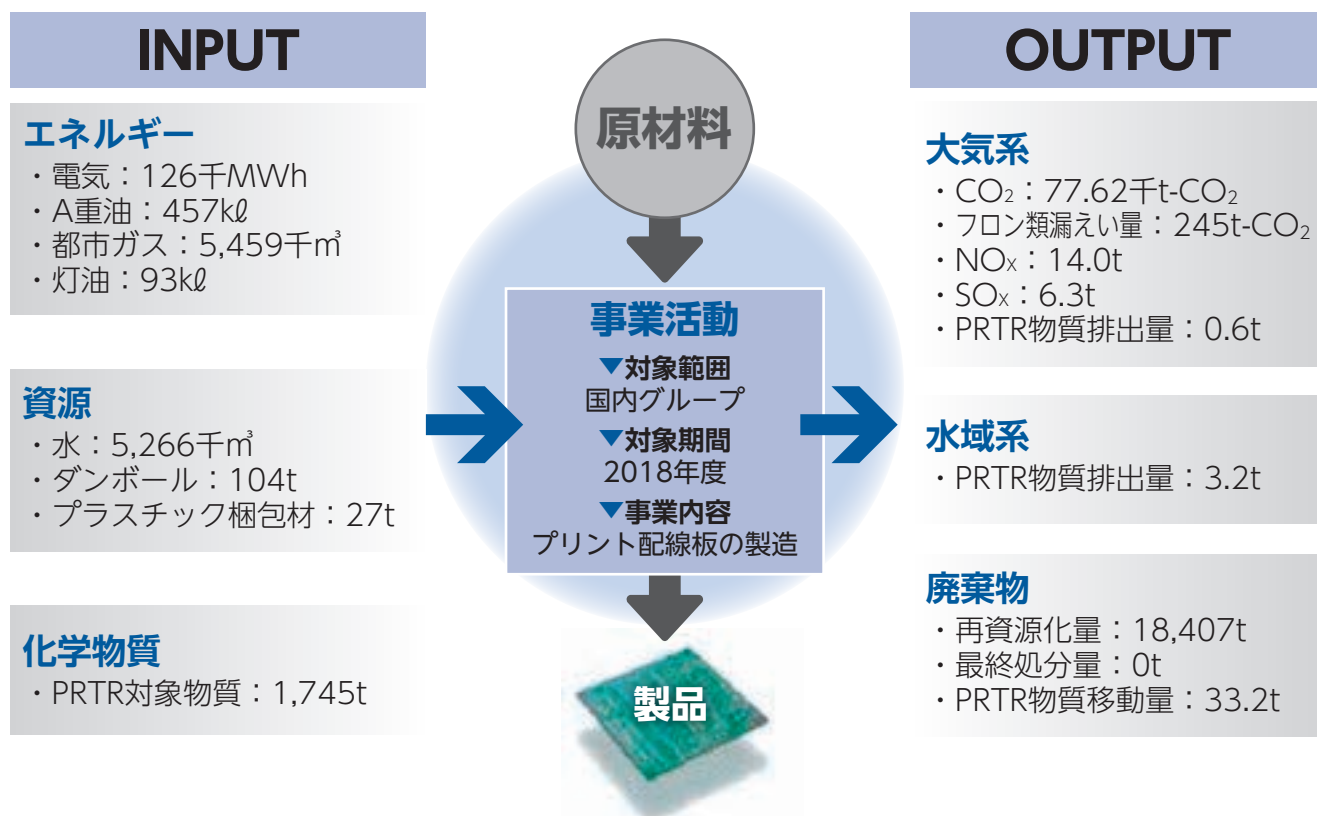
また、全社環境委員会の諮問機関の位置付けとして化学物質の管理状況について確認を担う環境監査部会とCO₂削減ワーキンググループを設け、より一層の活動強化をはかっています。



地球環境保全活動

事業活動と環境との関わりあい

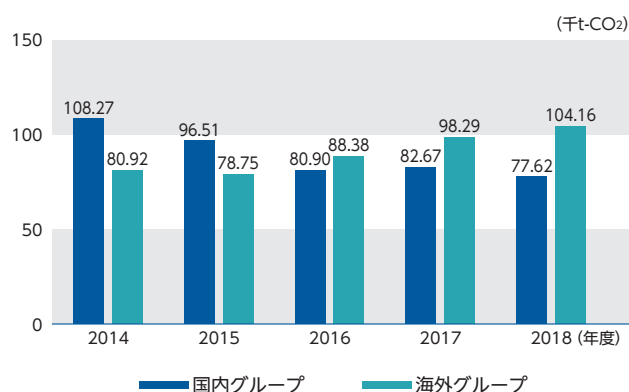
事業活動に必要な資源およびエネルギーの使用量とそれとともに排出される温室効果ガスや廃棄物の排出量を適切に把握することにより効果的な環境活動につなげています。



地球温暖化の防止

地球温暖化の原因であるCO₂の排出量削減に向けた省エネルギー活動を、製造部門、間接部門問わずCMKグループで推進しています。生産設備の自動化・装置改造による生産性向上、エアーコンプレッサー・冷凍機の高効率タイプへの更新、照明のLED化、ガス式空調機への転換などさまざまな改善により効果を上げています。2018年度のCO₂排出量は、国内グループでは77,620t-CO₂（前年度比6.1％減少）、海外グループでは104,163t-CO₂（前年度比6.0％増加）となりました。

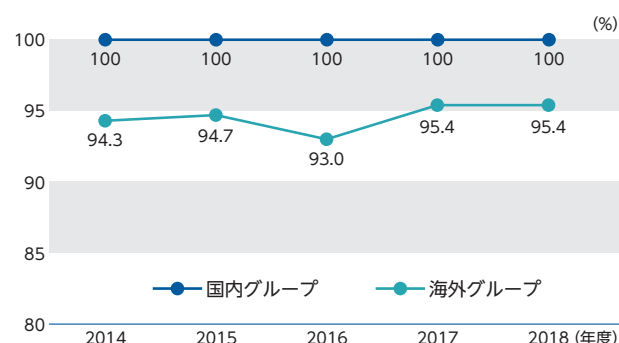
CO₂排出量の年度推移（国内・海外）



ゼロエミッションへの取り組み

CMKグループでは、ゼロエミッションを「直接埋立て処分する廃棄物の量をゼロにすること（業者委託による中間処理の残渣の埋立て処分量は含まない）」と定義し、その達成を目指して取り組んでいます。2018年度のゼロエミッション率は国内グループでは100％を維持、海外グループでは95.4％（前年度比変動なし）となりました。

ゼロエミッション率の推移



水資源の有効利用

CMKグループでは、水資源の有効利用、使用量削減への取り組みとして、水リサイクル装置の導入や、生産設備に節水機能を搭載するなど積極的に推進しています。

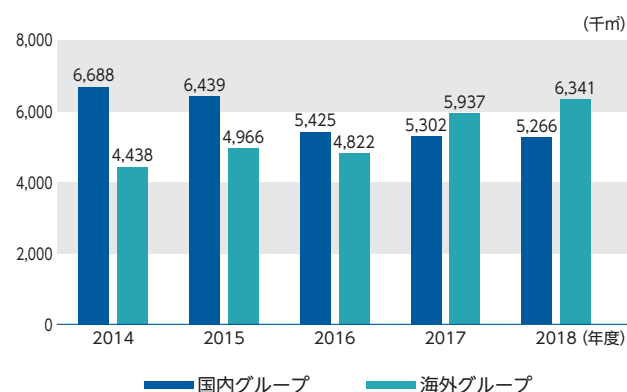
海外工場の水リサイクル量 [2018年度]

CMK無錫：138,432m³

旗利得電子：207,526m³

CMKタイ：241,888m³

水使用量の年度推移



2018年度 省エネ・省資源活動事例

EHPからGHPへの転換でCO₂排出量を削減：CMKプロダクツでの取り組み

CMKプロダクツでは、空調機・チラー等を電気モーターヒートポンプ（EHP）からガスエンジンヒートポンプ（GHP）に転換する取り組みを2017年より随時行っています。

GHPは、環境にやさしく経済的でCO₂排出量を減少させることが可能となり、地球温暖化防止策になります。

設備名	年間CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)	削減率 (%)
本社工場4F空調	143	54.0
本社工場5F空調	45	53.8
本社工場冷水チラー	231	28.3
合計	419	36.0

2019年度は、第二工場の積層ボイラー・空調用チラーをGHPに転換予定。

屋上に設置した超高効率GHP室外機



環境リスクマネジメント活動

環境リスクマネジメントプログラムの実施

プログラムの実施により環境に影響を及ぼす可能性のある潜在リスクの早期発見に努めています。国内外の事業所において環境リスクマネジメントプログラムが運用されており、計画的にリスクを抽出し、対策を実施する仕組みとなっています。

2018年度は、国内外合わせて130件のリスクが発見され、重要度が高いリスクに対して20件の対策を講じました。

生物多様性保全活動

各事業所周辺・地域の行政・ボランティア団体などと連携して、外来植物の駆除、植樹活動、生態保護活動など、さまざまな活動を行っています。

新潟地区ではサケやトゲソ*の生態保護への取り組みを地域と連携して推進しています。また、グリーン調達を通じてお取引先様への啓発活動を推進するなど積極的に「自然共生社会」を目指しています。

※トゲソとは？

新潟県五泉市周辺の呼び名で、図鑑ではイバラトミヨとされている。流れの穏やかな湧水が流れ込む小川に生息するが、近年の環境悪化により、新潟県では「絶滅危惧Ⅰ類」に指定されている。



丹波栗植樹の様子

製品への環境配慮

グリーン調達活動

環境理念に基づき、環境にやさしい製品の開発、環境に配慮した生産活動を推進しています。その一環として、環境管理体制が整備されているお取引先様から環境負荷の少ない材料を優先的に購入するグリーン調達を実施しています。

グリーン調達の評価は、独自のチェックシートをもとに環境負荷物質管理の仕組みやルールおよび運用の記録などを確認しています。

2018年度は、国内・海外合わせて131のお取引先様について実施しました。

環境配慮型プリント配線板「E-spec」

自社の環境基準を満たす製品を「E-spec」として製品の供給を通じ環境負荷低減にも取り組んでいます。

E-spec基準に適合した製品には、ご要望に応じてE-specマークを表示しています。2018年度のE-specの売上高は、全体の15%となりました。

E-specの必須基準

- ・ISO14001認証取得工場
- ・オゾン層破壊物質の不使用
- ・塩素系有機溶剤の不使用
- ・PVC（ポリ塩化ビニル）の梱包材への不使用
- ・RoHS指令6物質を含む自社で規定した禁止物質の不使用

E-specの選択基準

- ① ハロゲンフリー化
- ② 鉛フリー化
- ③ ハロゲン・鉛フリー化

E-specマーク

- ① CMK HF
- ② CMK PF
- ③ CMK HF PF

マークは2003年12月に商標登録済み

環境負荷物質管理活動

CMKグループでは、材料等に含有される化学物質、または製造時に使用される化学物質のうち、国内外の法規制、顧客要求、業界基準等に基づき、CMKグループとして地球環境や人体に著しい影響を及ぼすと判断した化学物質をEHS（環境負荷物質）と定義し管理しています。

EHS管理の基本的事項として次の5項目を掲げ、使用禁止物質が当社製品に混入、汚染され、出荷されないよう活動しています。

- ① 納入される材料やその仕入先を承認し登録する
- ② 登録された材料を選択する
- ③ 納入された材料が、登録された材料であるかを確認する
- ④ 登録された材料や当社最終製品が、自主的な科学的分析で使用禁止物質が非含有であることを証明する
- ⑤ ①から④に掲げる項目が確実に運用しているかを確認する

EU RoHS指令 規制物質への対応

新規に含有禁止物質に追加される4種のフタル酸エステル類は移行性があるため、「フタル酸エステル管理ガイドライン」を制定し、含有しない管理体制を構築しています。

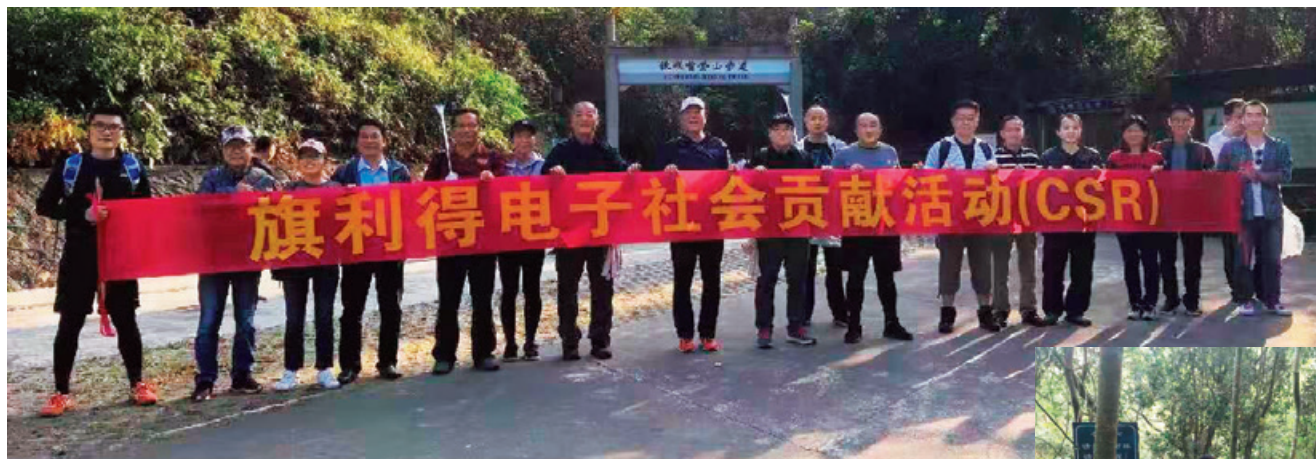
フタル酸エステル管理ガイドライン

- ・自社調達の原材料、梱包・包装材料、接触部材等の非含有の確認及び含有する場合の処置
- ・新規又は変更の際、原材料、梱包・包装材料、接触部材等すべての自社調達部材について含有有無を確認
- ・関係する従業員に対し、必要な教育を実施
- ・仕入先様への管理体制構築の要請及び定期的な確認

社会貢献

企業市民として、地域社会との調和共存をはかり、信頼関係を築くことが重要と考え、社会貢献活動を推進しています。

清掃・美化活動



旗利得電子（東莞）有限公司
広東省東莞市謝崗鎮
銀瓶山清掃登山を実施
(2018年11月24日)



Gステーション工場
工場周辺環境美化活動実施 (2018年5月30日)



シイエムケイ・プロダクツ(株)
相模川クリーン作戦に参加 (2018年10月28日)



新潟工場
聖籠町クリーン作戦に参加し工場周辺の清掃を実施 (2018年10月26日)



SEセンター環境美化活動の実施
(毎月実施)

品質・安全性

お客様によりご満足いただける魅力ある製品・サービスを提供できるよう、品質・安全性のさらなる向上に取り組んでいます。

品質保証に対する考え方

「心のこもった物づくり」を合言葉に、「品質第一」を掲げ、顧客満足度ナンバー1企業を目指し、品質の強化ならびに安全性の向上に取り組んでいます。

品質方針

- 一、お客様の期待とニーズを的確に捉え、常に選ばれる会社となるため、魅力ある製品・サービスを提供して行きます。
- 一、品質の重要性を認識し、全員参加のもとに品質マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
- 一、品質目標を設定し、達成するための手段を明確にして、迅速かつ適切に活動します。

品質保証体制

担当役員のもと、CMKグループの品質保証を管理・統括する組織として品質保証本部を設置するとともに、生産拠点のそれぞれに品質部門を設けています。また、品質・環境マネジメントシステムの統合運用をはかるため、環境推進部門を品質保証本部の傘下としています。

この品質保証組織が推進役となり、品質情報を共有するなど互いが密接に連携した役割分担のもと、お客様からのさまざまなニーズを反映させて、全社が一丸となった品質活動を体系的、かつ計画的に進めています。

品質/環境マネジメントシステム

CMKグループ全事業所では、世界各国に通用する品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001、または自動車業界向けの国際規格IATF16949、そして環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得しています。

これらの国際規格をベースにした社内マネジメントシステムの取り組みをより効率的、かつ効果的に実現するため、品質および環境マネジメントシステムの確実な運用と継続的な改善を推進しています。

製品の安全性確保に向けた取り組み

お客様に安心してご使用いただける製品を提供するため、プリント配線板を構成する材料（基材、ソルダーレジストなど）について当社独自の評価に基づく「材料認定システム」を運用しています。

材料の認定時には、関係部門による検証の場を設け、材料の信頼性ならびに環境負荷物質の管理状況を確認し、環境面においても安全な材料を採用しています。

また、米国の安全規格であるULにおいても、新製品や新材料について積極的に申請し、UL規格で認定された製品を提供しています。



環境試験装置



実装評価装置

世界同一品質に向けた品質強化への取り組み

製品の仕様ごとに市場での使われ方や品質保証期間を考慮し、より高い水準の信頼性評価を実施することでお客様に安全かつ安心な製品をお届けしています。

信頼性評価基準に満たない製品については、その原因を徹底追及し、製造現場へフィードバックすることによってさらなる品質強化をはかっています。

不具合事象の解析では各種分析装置を社内に取り入れ、正確かつスピーディーに原因の究明と対策を行い、そのノウハウをグループで共有することによって同一品質で生産できるよう品質強化に取り組んでいます。

各種分析装置



実体顕微鏡



熱分析装置



FT-IR



FE-SEM

顧客ニーズ対応

お客様のニーズを把握するため、お客様満足度に関するアンケート（以下CS調査）の実施や外部展示会への積極的な出展により、お客様からのご意見やご要望など課題を把握する機会を設けています。継続的な改善活動を通じ、お客様に満足いただける企業を目指しています。

CS調査による顧客ニーズ収集活動

CS調査の実施

CS調査では「製品」をはじめ「営業」「品質」「納期」「技術」といったカテゴリごとの調査を定期的に行っています。

調査結果の分析および改善活動について

調査で得られた結果をもとに傾向分析を行い、経営レベルで情報を共有するとともに、担当部門は改善に向けた施策を実施します。改善活動の情報はCS調査掲示板により社内共有する仕組みとなっており、さまざまな部門が一体となりお客様満足度向上を目指しています。

取り組み活動状況についてのご報告

改善活動の状況は、担当の営業社員を通じてお客様にフィードバックします。改善を期待されている内容について、どのように取り組んでいるかをお伝えすることも重要なプロセスの一つだと考えています。

CS調査で改善活動の有効性を評価

前年度のCS調査で課題となった事項に対しては、その取り組み活動が有効であったか否かを今年度のCS調査で分析する流れとしています。お客様のニーズを継続的に収集・評価分析・改善活動をサイクル化し、お客様満足度向上につなげていきたいと考えています。

2018年度のトピックス

CMKCHKでは営業社員のスキルアップをはかるため2ヶ月に1回の頻度で勉強会を開催しています。



勉強会の様子

展示会への出展

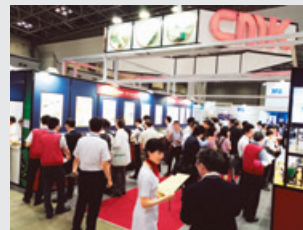
JPCAショー（2018年6月）、ネプコンジャパン名古屋（2018年9月）、ネプコンジャパン東京（2019年1月）に出展しました。

展示会では、自動運転の未来へ向けたADAS（先進運転支援システム）として、79GHz帯域対応衝突防止センサー用配線板やセンシングカメラ用配線板などを紹介しています。

また、機器の高機能・小型化技術として、筐体との一体化が可能となる3D構造の配線板を提案しました。

特に昨年より開催されましたネプコンジャパン名古屋においては、関西地区のお客様から多数の商談をいただくことができ、有意義な展示会となりました。

JPCAショー



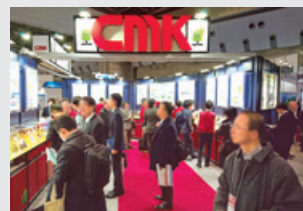
2018年6月

ネプコンジャパン名古屋



2018年9月

ネプコンジャパン東京



2019年1月

車載通信

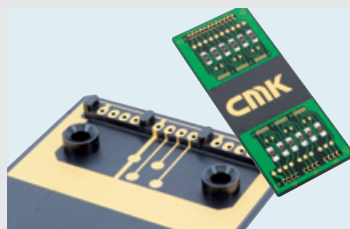


ミリ波レーダー用配線板
(79GHz帯域対応衝突防止センサー)

車載カメラ実装基板



3D形成配線板
(高密度・小型化)



3D形成配線板
(プラスチック筐体一体化)

協働ロボット



リジッド・フレックス配線板
(小型カメラモジュール)



公正な取引

「CMKグループ購買方針」に基づき、お取引先様との信頼関係を大切にし適正な取引を継続的に実施しています。また、お取引先様とともに環境配慮・法令遵守に努め、サプライチェーン全体でのCSR調達に取り組んでいます。

公平、公正な取引の実施

お取引先様の選定や取引継続においては、公平・公正な購買取引を行うため「お取引先様選定方針」に基づき最終的な決定を行っています。その中でも特にサプライチェーンを通じ、遵法性の確保をはじめ各種社会課題への取り組みなど、お取引先様とともに進めるべく、CSR調達を推進していきます。

お取引先様へのCSR（企業の社会的責任）取り組み調査の実施

お取引先様のCSR推進状況を確認するため、CSRセルフチェックを定期的の実施しています。

今回は11回目となり、72社に対し調査を行っており、調査対象先の拡大に加え、紛争鉱物への対応状況についても併せて確認しています。当社のCSRに対する考え方をお取引先様にご理解いただく機会でもあり、本活動を通じてお取引先様におけるCSR活動に対する意識も年々高まっていることが感じられます。

タイ、中国でサプライヤーミーティング開催

タイ（CMKタイ）では2018年5月、中国（CMK無錫）においては2018年7月、それぞれサプライヤーミーティングを実施しました。

タイで45社、中国で39社のお取引先様に参加いただき、CMKグループの購買方針（法令・社会規範の遵守、公平公正な取引・地球環境への配慮）および今後の動向などの説明を行い、継続的な協力をお願いしました。

下請法セミナー実施

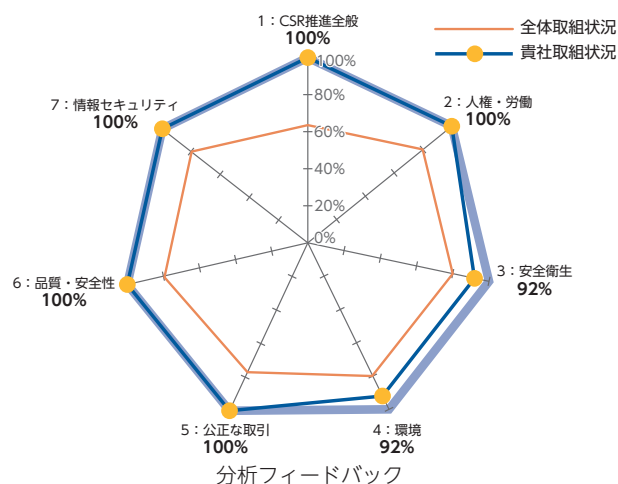
下請取引の適正化、優越的地位濫用の未然防止及び下請法の遵守を目的として、業務上深く関係する部署を中心に2019年2月にセミナーを実施しました。

国内の各工場・営業所をテレビ会議で結び28名が受講し、知識の向上・共有をはかりました。

●●●●株式会社様

今回評価ランク：A

項目	1	2	3	4	5	6	7	合計
満点	24	12	13	13	17	9	12	100
貴社得点	24	12	12	12	17	9	12	98
平均得点	15.6	9.2	11.0	10.7	13.4	7.5	9.5	76.9
貴社取組状況	100%	100%	92%	92%	100%	100%	100%	98%



CMKタイでのサプライヤーミーティングの様子



CMK無錫でのサプライヤーミーティングの様子



下請法研修受講の様子

人権・労働

「経営理念」、「CMKグループ行動宣言」に基づき、個人の多様な価値観を認めるなど人権を尊重し、従業員一人ひとりの可能性を最大限にひきだし、意欲的に職務に取り組む環境を醸成しています。

人材育成（ダイバーシティ＆インクルージョン）

当社では、性別、年齢、国籍、宗教等による差別を排除するなど、人権の尊重をはじめ多様な人材採用、育成、ならびに成果や能力に応じた公正な評価、処遇に取り組んでいます。従業員一人ひとりの能力開発を積極的に推進し、多様な個性や価値観を組織の力に変え、世界中の多様な人材が最大限に能力を発揮し、行動力と豊かな創造性を有した社会に貢献できる人材を育成しています。

海外ナショナルスタッフの日本研修

ものづくりの技量強化、製造・品質等の生産に関わる各種管理手法の習得を目的とし、海外ナショナルスタッフ3名（CMKタイ1名、旗利得電子2名）が日本で6ヶ月間の研修に参加しました。「世界同一品質」の実現に向けて帰国後の活躍が期待されます。

（中央：王さん）日本の社員の仕事への真摯な態度、情熱、優しさ（温かさ）に感動した。

（左：ウィワチャイさん）日本の工場は5Sの徹底がスゴイ！タイ工場でも実践したい。

（右：劉さん）今回は貴重な機会を与えていただき感謝します。仕事に対して全力でひたむきに取り組む姿勢を見習いたい。



外国人技能実習制度

諸外国の産業発展に寄与する人づくり、国際協力・国際貢献、本国への技能移転を目的とし、外国人技能実習制度を導入しました。

昨年度に引き続き、第2期実習生として、タイから21名が1ヶ月の日本語・異文化研修を経て、2018年10月より新潟工場で製造作業、品質管理、職場規律、コスト意識など、ものづくりに関する技能と姿勢を学んでいます。帰国後の本国での活躍が期待されます。



海外事業所マネジメント研修

マネジメントスキルの向上による職場活性化、品質向上、生産性向上等を目的として海外現地マネージャークラスを対象に、2019年1月、旗利得電子24名に対し、マネジメント研修を行いました。



海外留学制度

グローバル人材育成の一環として、主に語学力の向上を目的とした海外留学制度を実施しています。2019年1月よりフィリピンの語学学校への留学を行い、語学力の向上と異文化理解の促進、適応力の向上を目指しています。

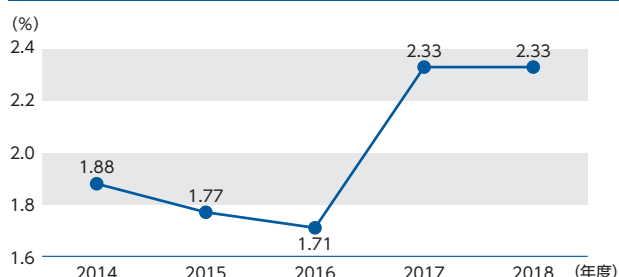


フィリピンの語学学校で英語を学びました。海外のお客様との業務に役立てたいと思います。
※写真右：留学した石田さん
語学学校の先生（左）と

多様な人材の活躍推進

年齢や障がいの有無にとらわれず、多様な人材が持つ能力を十分に発揮し、いきいきと働ける職場環境を提供しています。また、50歳代の従業員を対象に「キャリア研修」「キャリア面談」を開催し、これからの働き方等を考える機会を設けています。

障がい者雇用率



ワーク・ライフバランス

従業員の働きやすさの向上とワーク・ライフバランス（仕事と生活の調和）を目的に推進しています。

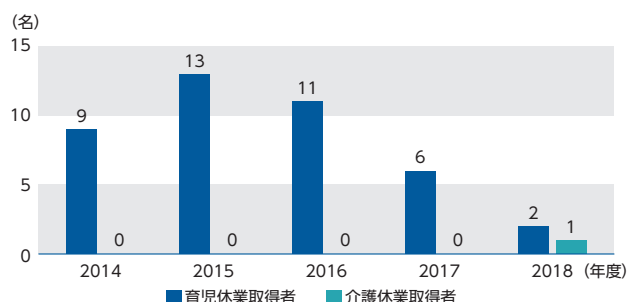
育児・介護支援制度

育児・介護のための短時間勤務制度の導入、育児・介護の休業・休暇の取得期限の拡大、在宅勤務制度の試行等、従業員が仕事と家庭生活の両立を可能とした、安心して働けるための支援制度を導入しています。

2018年度に変更を行った育児・介護関連制度は以下のとおりです。

制度(項目)	2017年度	2018年度以降
育児休業	最長2歳まで	最長3歳まで
時間外労働の免除	3歳未満まで	小学校終期まで
時間外労働の削減	小学校始期まで	小学校終期まで
看護休暇	小学校始期まで(無給)	小学校終期まで(有給)
育児短時間勤務	3歳未満まで	小学校終期まで
介護休業	93日	365日
介護休暇	無給	有給

育児・介護休業取得者



在宅勤務制度

育児支援などを目的とし、多様で柔軟な働き方の実現に向け、2019年度には在宅勤務制度の導入を目指し、トライアル運用を行っています。

年次有給休暇の半日単位取得制度（半休制度）

年次有給休暇を半日で取得できる「半休制度」を導入しています。

半日有給休暇取得回数					
年度	2014	2015	2016	2017	2018
取得回数	1,407	2,354	1,706	1,670	1,980

代替休日制度

従業員の健康保持（過重労働の予防）を目的とし、休日出勤や残業時間等の時間外労働時間が所定労働時間に達した場合、代替休日（代休）の取得を可能とする制度を導入しています。

代替休日取得回数					
年度	2014	2015	2016	2017	2018
取得回数	9	21	69	32	30

従業員コミュニケーションの促進と感謝し合う風土の醸成

従業員のコミュニケーションの促進を通じ、良好な人間関係や職場風土の向上を推進しています。

サンクスポイント制度の導入

2018年度より、コミュニケーションの促進を通じ良好な職場風土を醸成していくことを目的に、日々の仕事で感謝する事柄があった際、相手への感謝の意としてポイントを付与する制度を導入しました。

サンクスポイントの高ポイント取得者には社長より表彰を行っています。

金賞・銀賞2名：高ポイント取得者

部門別賞：部門別の高ポイント取得者

特別賞：他の職種からの高ポイント取得者



2018年度
金賞受賞
岩田さん

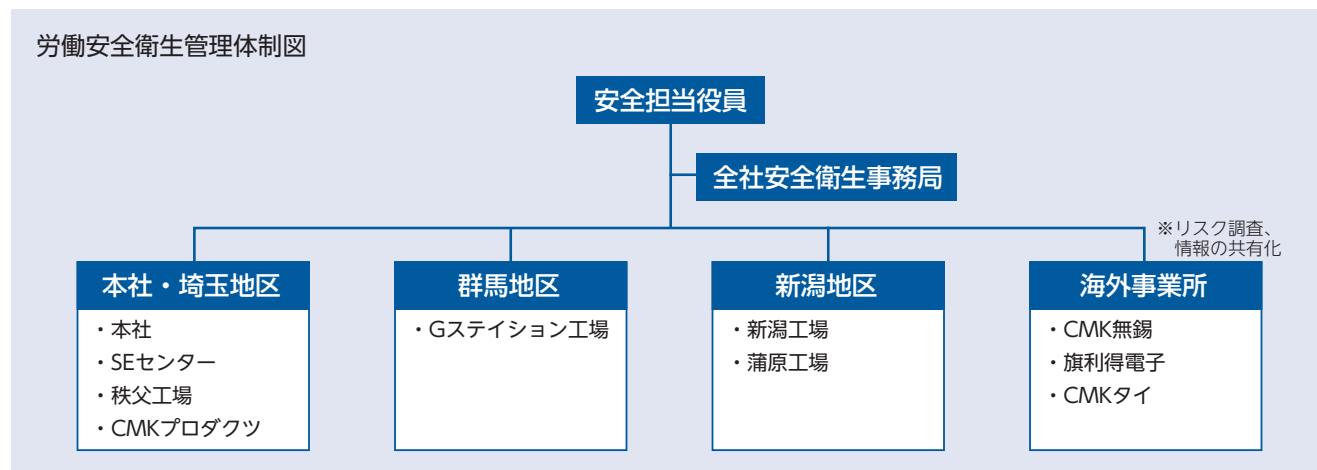
安全衛生

従業員の安全と健康の確保は、事業の「発展と持続」を支える基盤です。

従業員一人ひとりの安全衛生に対する意識の高揚をはかり、職場における安全第一の思想を基本に、全員参加による危険のない安心して働ける快適職場の形成を目指します。

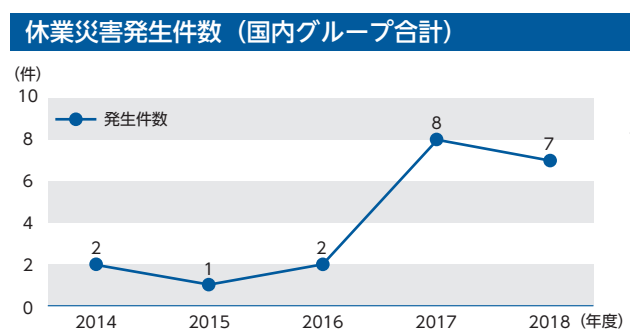
安全管理体制

全社の安全を統括する担当役員を任命し、安全衛生基本方針のもとグループ内での積極的な安全衛生推進活動を実施しています。地区拠点毎の責任体制のもと、事業所内での相互パトロールなど連携した活動を推進しているほか、全社安全関連情報の共有や全社安全監査を実施しています。

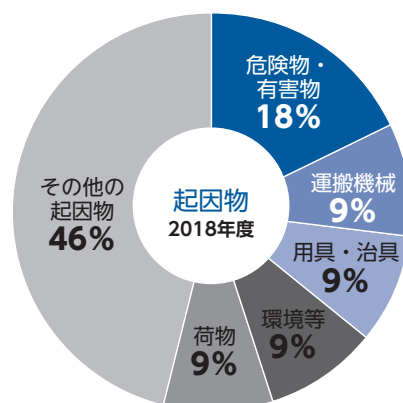
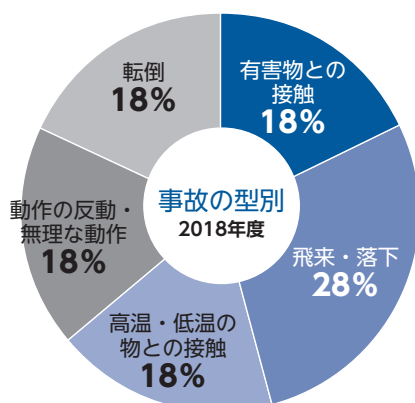
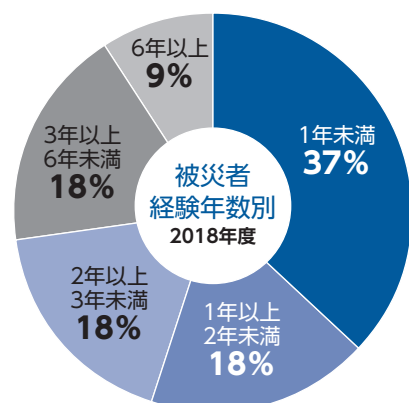


労働災害の分析と発生防止の取り組み

職場安全環境の確保と向上をはかるため、過去事例の分析を行い、事故発生現場の対策状況を再確認して現状を把握するなど全社安全衛生本部監査の強化をはかっています。また、安全衛生委員会のほか各職場でヒヤリハットミーティングによるリスクアセスメント活動を実施し、安全安心な職場づくりに取り組んでいます。



2018年度の労働災害発生件数は11件で、7件が休業をとともうものでした。各職場では、ヒヤリハット調査およびリスク対策検討とその実施を行っています。また、近年の地球温暖化による熱中症対策も取りまとめ、安全安心な職場づくりに取り組んでいます。





CMKグループ安全衛生活動



職場でのヒヤリハットミーティングの様子



普通救命講習会の開催

日本における心疾患は年々増加傾向にあり、今後も高齢化社会の進展により心筋梗塞など心疾患がさらに増加するものと思われます。こうした中、当社ではAED設置を推進しており、国内主要事業所での設置が完了しております。

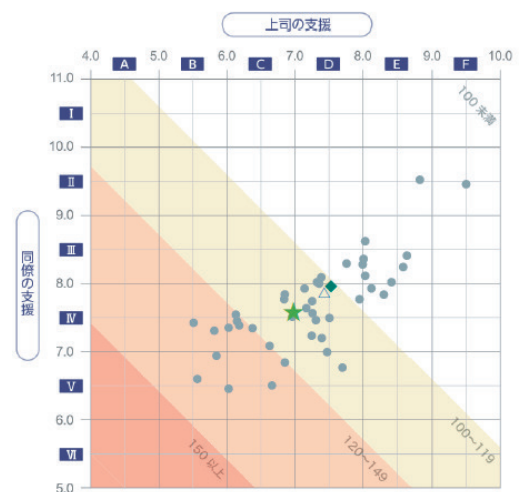
AEDの取り扱いを含め救命救急の基礎を習得するため、2018年度も各地区において消防署員を講師に招き「普通救命講習会」を開催しました。



ストレスチェックの実施

毎年10月にストレスチェックを実施しています。従業員一人ひとりのストレスへの気付きを促すとともに、組織分析を実施し、従業員が心のストレスを抱えることなく、持てる力を最大限に発揮できるよう、働きやすい職場づくりを進めています。

質問票のイメージ				
	1	2	3	4
あなたの仕事についてうかがいます。最もあてはまるものに○を付けてください。				
1. 非常にたくさんの仕事をしなければならない	1	2	3	4
2. 時間内に仕事が処理しきれない	1	2	3	4
最近1か月間のあなたの状態についてうかがいます。最もあてはまるものに○を付けてください。				
1. 活気がわいてくる	1	2	3	4
2. 元気がいっぱい	1	2	3	4
あなたの周りの方々にうかがいます。最もあてはまるものに○を付けてください。				
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか？				
1. 上司	1	2	3	4
2. 職場の同僚	1	2	3	4



2018年度ストレスチェックのデータ分析結果から、上司や同僚の支援不足によるストレスの高い部署が検出されました。

1. 一人仕事の要素が強い職場での支援方法の検討
2. 報・連・相の充実やコミュニケーションの密度向上等の対策を行い、経過のモニタリングを実施します。

情報セキュリティ

情報セキュリティに関する脅威がますます高度化・複雑化している中、当社はお客様からお預かりしている情報の保護が第一と考えています。情報資産を安全かつ確実に保護するため、情報漏えい・改ざんなどのリスク排除に向けた情報セキュリティ対策の維持・向上への様々な取り組みを実施しています。

基本方針・関連規程

情報セキュリティポリシー

情報資産の機密性、完全性、可用性を維持するため、情報セキュリティ基本方針、規程、マニュアルを制定し、これを遵守しています。

プライバシーポリシー

個人情報の取扱いについて、個人情報保護基本方針、規程を制定し、紛失や不正利用防止、適切な取扱いについての教育を実施し、安全対策を講じています。

情報セキュリティに関する内部監査

「情報セキュリティマニュアル」に則し、各部門の情報資産管理が適正に行われていることを定期的に社内監査し、必要に応じて改善のための提言を行うなど、情報セキュリティ管理の整備と運用の強化をはかっています。また、監査法人によるIT監査においても有効との評価を得ています。

情報セキュリティ基本方針
個人情報保護基本方針
特定個人情報等の適切な取扱いに関する基本方針

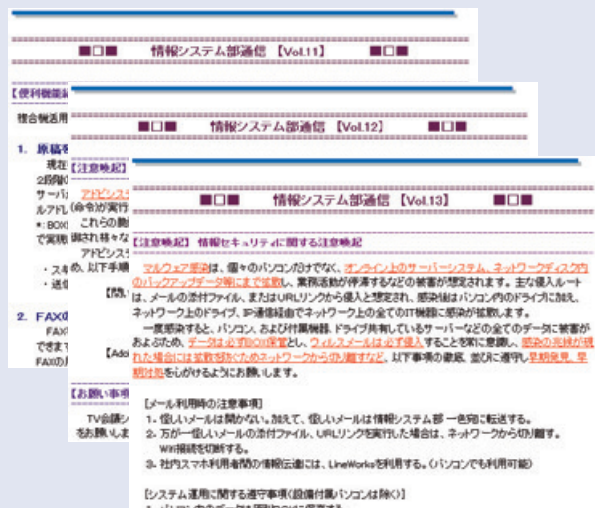
情報セキュリティ管理規程
個人情報保護管理規程
特定個人情報取扱規程

情報セキュリティマニュアル

社内セキュリティ対策

定期的な注意喚起

標的型ウイルスやランサムウェアなどますます巧妙化するサイバー攻撃に対して適切な対応ができるよう、「情報システム部通信」として定期的に全従業員に向けて情報を発信しています。ウイルスメールの文面事例なども紹介しながら、繰り返し注意喚起し、セキュリティの意識向上をはかっています。2019年3月末時点で第17号まで発行しています。



標的型攻撃メール訓練の実施

社内の標的型攻撃メールに対する対応状況の把握と、適切な対処方法の再確認を目的として、標的型ウイルスメールを模したメールを配信しました。突然怪しいメールが届くことを実際に経験することで、身に覚えのないメールは開かない、不用意にURLをクリックしないなど、従業員のセキュリティ意識が向上しました。

フィルター機能の変更

本年度はメール受信時のウイルスメール、迷惑メールをブロックするフィルタリング機能を変更しました。また、インターネットの閲覧に関して、カテゴリー別のブラックリストと個別のホワイトリスト併用によるURLフィルタリングを実施し、不要なサイトからのダウンロード等、ウイルス感染のリスクを低減しています。

Windows7搭載PCの入れ替え

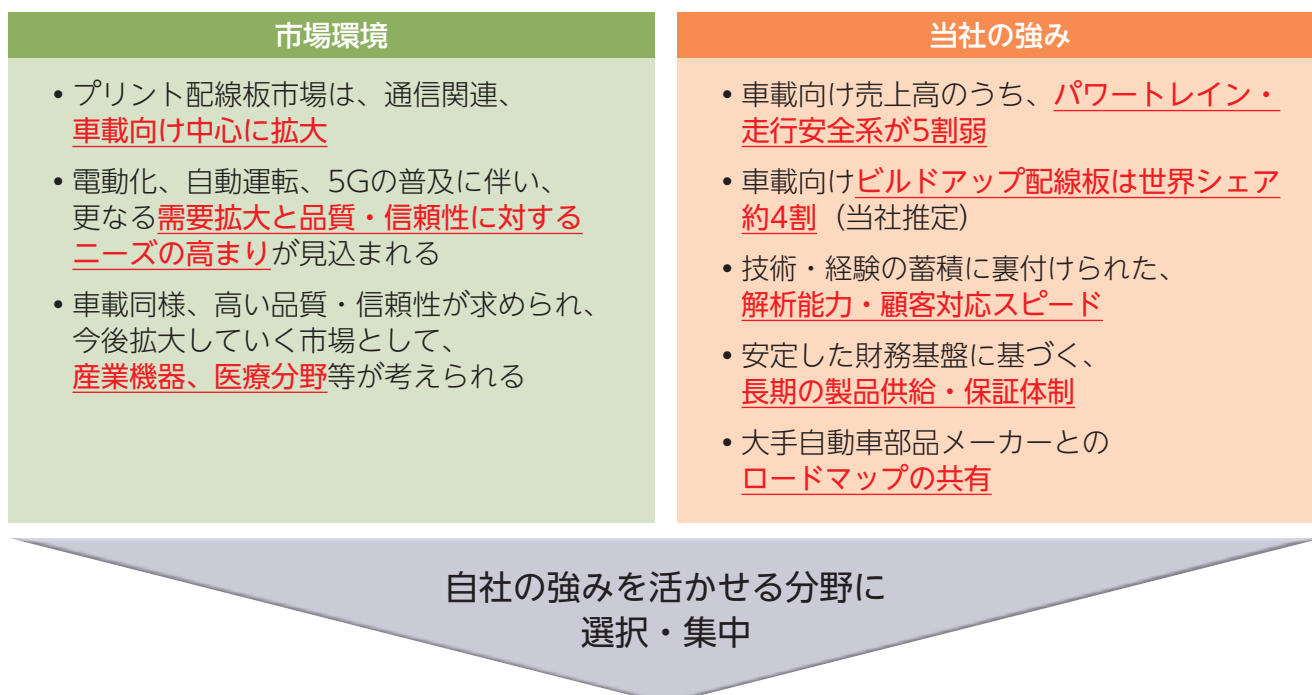
2020年1月にWindows7のサポートが終了するため、Windows10への交換作業を随時実施しています。また、管理サーバより一括して定期的に各端末にセキュリティパッチの配布を行い、パソコンのセキュリティ対策を強固に保っています。

中長期ビジョン・中期経営計画

■中長期ビジョン・戦略の骨子

「やりがいと顧客満足度を上げるための事業体制に変身する」

『世界最高レベルで安心感のある製品』を世の中に供給することにより、ステークホルダーからの期待に応えるとともに、社員の幸せ・成長を実現する。



注力する事業領域を絞り込み、用途・基板種類別にターゲットを選定
車載市場を主軸とした高付加価値分野での成長を図る

■中期経営計画2019

経営方針：

当社の強みを活かせる車載市場を主軸とした高付加価値分野に注力し、収益性と資本効率を高める

中期経営計画達成のための3本の柱

設備投資
300億円

生産能力増強と生産性向上

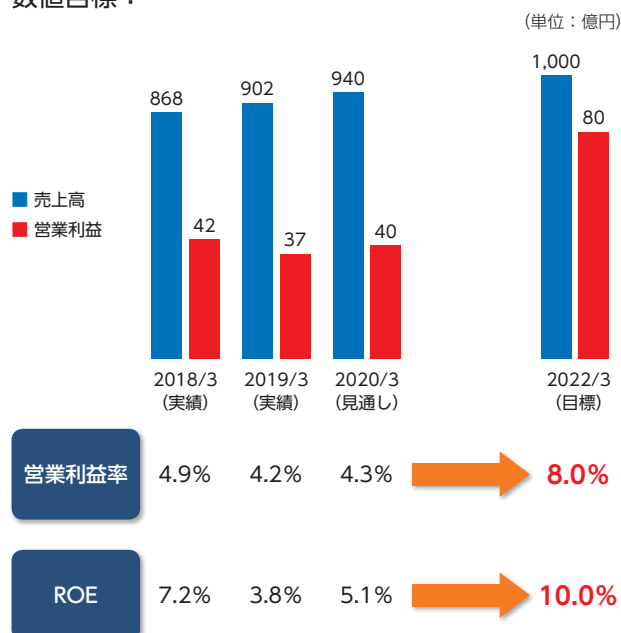
構造改革

収益力強化に向けた営業・生産・調達・人事における各業務プロセスの構造改革

企業品質
向上

ESGの推進及び財務健全性の維持・強化

数値目標：



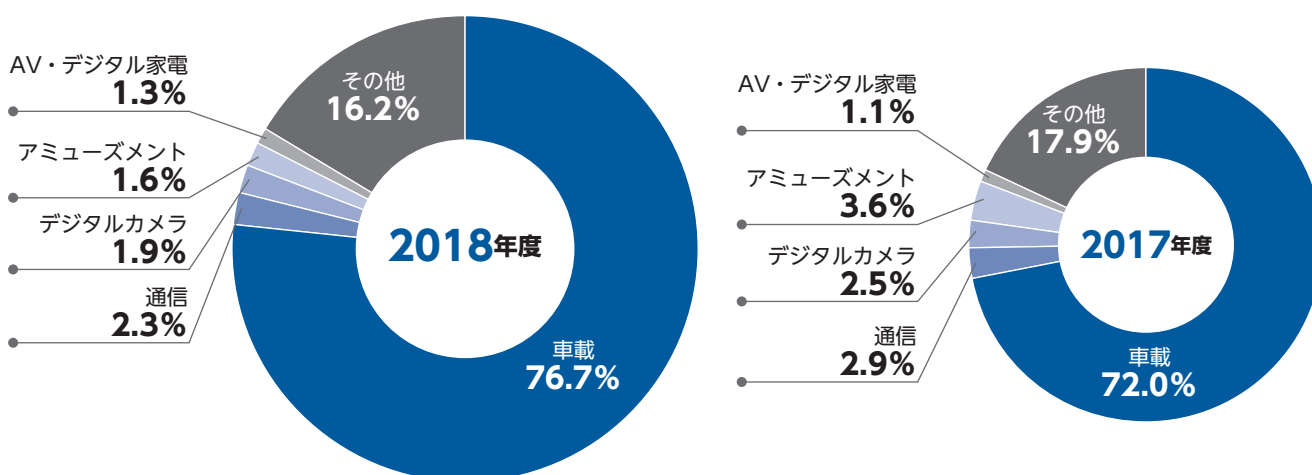
業績・財務ハイライト

当社グループが主力とする車載向けプリント配線板市場においては、環境規制強化によるPHVやEVの普及など、自動車の電子化進展により、需要が堅調に拡大しております。

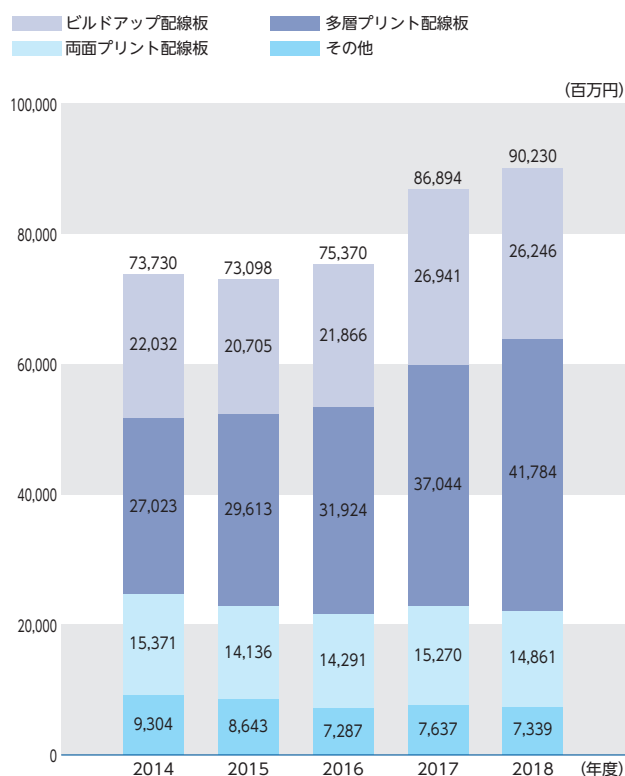
当社グループは、車載向けを中心とした需要増加に対して、生産能力拡大に向けた設備投資を実施するとともに、生産性向上を進めております。これらの結果、連結売上高は902億30百万円（前期比3.8%の増収）となりました。

利益面につきましては、為替の影響および国内需給バランスの一時的な調整にともなう稼働率低下の影響などにより、営業利益は37億67百万円（前期比11.7%の減益）となりました。また、営業利益の減少にともない、経常利益は37億70百万円（前期比3.7%の減益）、一部の投資有価証券において評価損が発生したため、親会社株主に帰属する当期純利益は20億15百万円（前期比44.6%の減益）となりました。

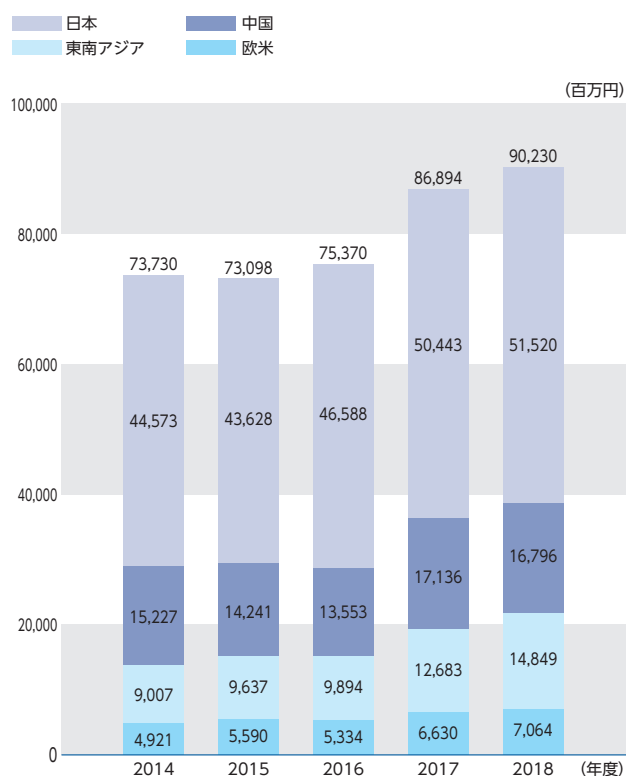
用途別売上高



品目別売上高情報



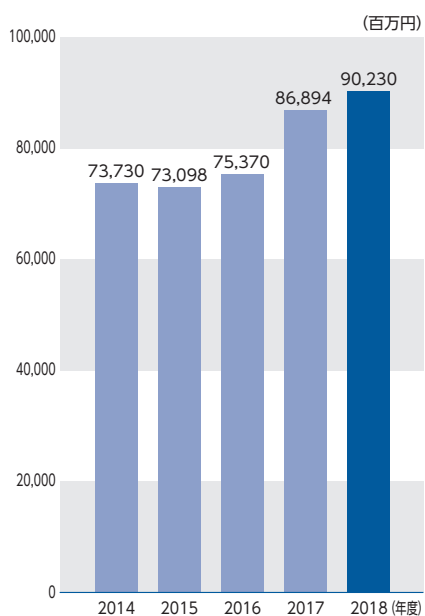
所在地別売上高情報



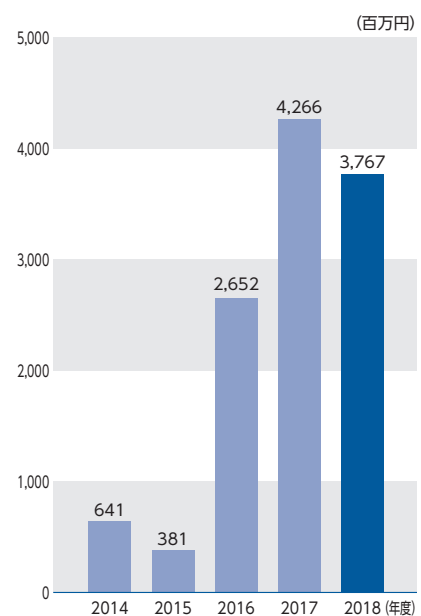
連結会計年度		2014	2015	2016	2017	2018
売上高	(百万円)	73,730	73,098	75,370	86,894	90,230
営業利益	(百万円)	641	381	2,652	4,266	3,767
経常利益又は経常損失(△)	(百万円)	1,513	△ 628	2,628	3,917	3,770
当期純利益又は当期純損失(△)	(百万円)	1,178	△ 8,122	2,153	3,638	2,015
純資産	(百万円)	59,651	50,090	51,549	55,892	55,849
自己資本比率	(%)	56.4	51.4	51.5	55.5	49.9
従業員数	(名)	4,490	4,305	4,512	4,601	4,990

※「親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)」を「当期純利益又は当期純損失(△)」として記載

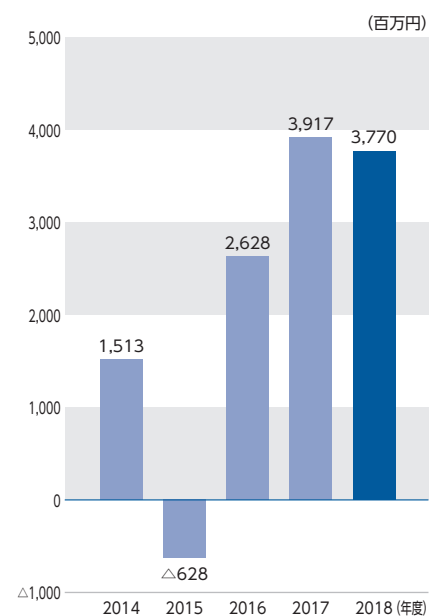
売上高



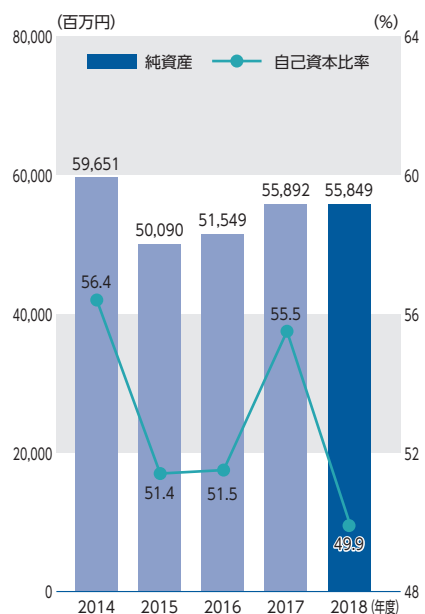
営業利益



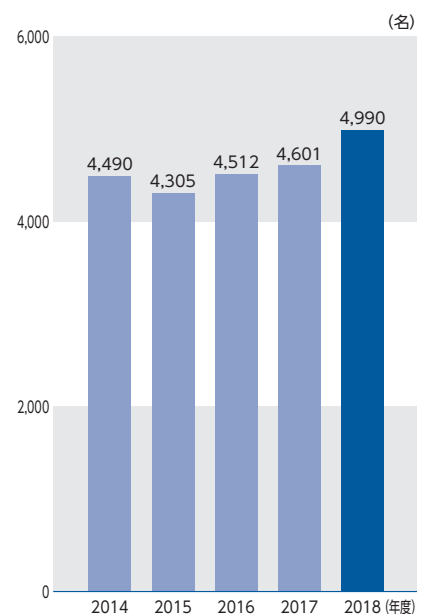
経常利益又は経常損失(△)



純資産・自己資本比率



従業員数



会社概要

商 号 日本シイエムケイ株式会社

設 立 1961年2月

代表取締役社長 大澤 功

資 本 金 223億620万円

上 場 東京証券取引所市場第一部

役 員 (2019年6月末現在)

取締役および監査役			
代表取締役社長 執行役員会議長	大 澤	功	
専 務 取 締 役 執 行 役 員	黒 沢	明	
取締役執行役員	花 岡	仁 志	
取締役執行役員	白 井	孝 浩	
社 外 取 締 役	右 京	強	
社 外 取 締 役	佐 藤	り か	
社 外 取 締 役	原 口	文 雄	
常 勤 監 査 役	小 笠 原	敬	
常 勤 監 査 役	小 池	正	
社 外 監 査 役	大 高	由 紀 夫	
社 外 監 査 役	柿 崎	昭 裕	

本社所在地 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号

事 業 内 容 民生用・産業用各種プリント配線板および電子デバイスの開発・製造・販売

従 業 員 数 1,204名 (CMKグループ4,990名)

平 均 年 齢 44.54歳

執行役員			
執 行 役 員	石 坂	嘉 章	
執 行 役 員	河 島	正 紀	
執 行 役 員	栗 山	昌 也	
執 行 役 員	佐 藤	弘 幸	
執 行 役 員	柴 田	栄 造	
執 行 役 員	立 川	隆 弘	
執 行 役 員	中 山	明 治	
執 行 役 員	萩 原	正 芳	
執 行 役 員	松 尾	朋 則	
執 行 役 員	松 尾	直 樹	
執 行 役 員	和 田	知 良	

沿革

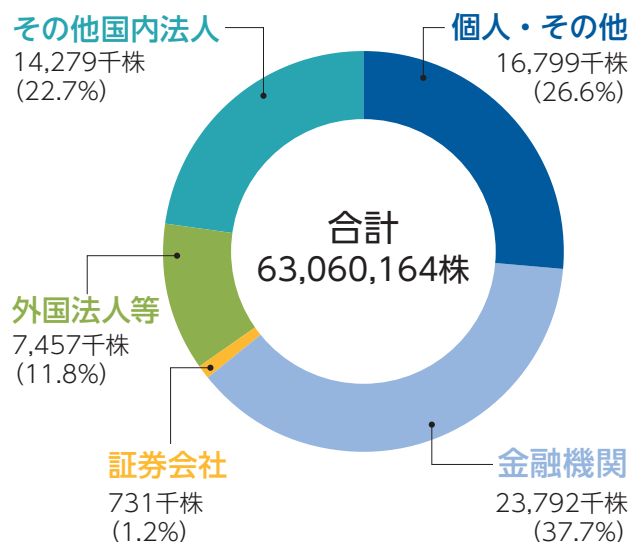
1959年	現名誉顧問の中山登がネームプレート製造を個人創業
1961年	個人会社を法人化し中央銘板工業(株)(東京都杉並区)を設立
1963年	プリント配線板の生産を開始
1967年	埼玉県三芳町に埼玉工場(現SEセンター)を開設
1970年	プリント配線板生産を専業化
1974年	群馬県伊勢崎市に群馬工場(現Gステーション工場)を開設
1980年	埼玉県秩父市に中銘エンジニアリング(株)(シイエムケイメカニクス(株)に商号変更)を設立 シンガポールにCMK SINGAPORE(PTE.)LTD.(現CMK ASIA(PTE.)LTD.)を設立
1984年	日本シイエムケイ(株)に商号変更し、本社を埼玉県三芳町へ移転
1985年	東京証券取引所市場第二部に上場
1987年	ベルギーにCMK EUROPE N.V. を設立
1989年	東京証券取引所市場第一部に指定替え

1990年	新潟県聖籠町に新潟サテライト工場(現 新潟工場)を開設 シイエムケイ蒲原電子(株)(新潟県五泉市)に出資
1995年	本社を東京都新宿区へ移転
1998年	(株)山梨三光(山梨県韮崎市)に出資
2000年	中国に旗利得電子(東莞)有限公司を設立
2001年	中国に希門凱電子(無錫)有限公司を設立 香港に新昇電子(香港)有限公司を設立
2006年	タイにCMK CORPORATION(THAILAND)CO.,LTD. を設立
2007年	国内子会社3社を合併し、シイエムケイ・プロダクツ(株)に商号変更 アメリカにCMK AMERICA CORPORATIONを設立
2012年	中国に新昇電子貿易(深圳)有限公司を設立
2014年	日本シイエムケイマルチ(株)、シイエムケイ蒲原電子(株)、(株)山梨三光、シイエムケイメカニクス(株)を吸収合併

株式の状況 (2019年3月現在)

発行可能株式総数	227,922,000株
発行済株式総数	63,060,164株
株主数	7,702名
単元株式数	100株

所有者別 株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,574	7.7
中山 高広	2,836	4.7
株式会社みずほ銀行	2,576	4.3
一般財団法人 電子回路基板技術振興財団	2,500	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,386	4.0
第一生命保険株式会社	1,895	3.2
橋本 浩	1,890	3.1
中山 明治	1,886	3.1
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 ぎらぼし銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	1,745	2.9
株式会社キョウデンエリアネット	1,735	2.9

(注) 1. 当社は、自己株式3,863,270株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

編集方針

CMK Report について

当社では1999年に「環境報告書」を発行開始、その後2007年に「CSR報告書」へ発展、以降2017年まで毎年非財務情報分野の活動を開示・継続発行してきました。さらに2018年度より財務情報や役員・株式情報などの会社情報を加え、当社の活動をさまざまなステークホルダーのみなさまに継続的にわかり易くお伝えすることを目的に作成・開示しているものです。

その他報告書基本情報

報告書対象期間：2018年4月1日～2019年3月31日
(ただし記事・内容は2019年5月までを含む)
発行年月：2019年8月

WEBサイトのご案内

WEBサイトに本レポートと環境情報に特化した環境データ集をご覧いただけます。

<https://www.cmk-corp.com/csr/>

参考ガイドライン

ISO26000 「社会的責任に関する手引き」
環境省 「環境報告ガイドライン(2012年版)」



〒163-1388 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号
新宿アイランドタワー43F
TEL : 03-5323-0231
<https://www.cmk-corp.com/>



CMK Reportは、「植物油インキ」「FSC® 認証紙」を使用しています。
また、印刷工程で有害な廃液を出さない「水なし印刷方式」で印刷し、環境に配慮して製本されています。
